

## 別紙様式3

2019年度 第1回 地域から信頼され地域に貢献できる人材育成推進協議会 議事要旨

日 時	令和元年7月8日(月) 13:30~15:00
場 所	岐阜県立中津商業高等学校 会議室
出席者	<p>(委員)</p> <p>大井 久司 中津川市 副市長(市長代理)</p> <p>森 益基 中津川市 市議会議員</p> <p>吉村 孝志 中津川市 市議会議員</p> <p>粥川 茂和 中津川市 市議会議員・同窓会会長</p> <p>本多 弘尚 中津川市 教育長</p> <p>久木 利通 トーキン工業(株) 代表取締役</p> <p>岩久 義和 中津川市立第一中学校 校長</p> <p>嶋倉 伸蔵 中津川市立第二中学校 校長</p> <p>安藤 隆生 PTA会長</p> <p>(学校側)</p> <p>原 祐一 校長</p> <p>安藤 範和 教頭</p> <p>丸山 裕 教務主任</p> <p>丹羽 浩徳 渉外部長</p> <p>兼松 美穂 商業科主任</p> <p>熊谷 秀太 経済コース長・青年部代表</p> <p>西田 茉由 商業科実習助手(記録)</p> <p>(岐阜県教育委員会)</p> <p>高橋 宗彦 教育総務課 教育主管</p>
議事概要	<p>1 地域連携による活力ある高校づくり推進事業概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力の発見と発信 各コースの特色を生かした「観光ガイド」や「ふるさと納税」、「地域の魅力発信」の推進に向けた取組</li> <li>・地域行事への積極的な参加 オリジナル商品の提案や地域イベントでの販売、地域貢献の日におけるボランティア活動</li> <li>・地域から学ぶ取組 地域の文化や歴史、自然、産業、福祉等について、ミニ講演会等を実施して、地域の現状を知る機会を作る</li> <li>・本校への理解と商業教育を知ってもらうための取組 中学2年生を対象とした「簿記」の出前講座や小学校教員を対象にしたプログラミング講座、中学校3年生を対象とした学校説明会の実施</li> <li>・倉敷の美観地区及び高校生の取組についての視察報告</li> </ul> <p>2 事業概要に係る協議について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと学習を取入れることによって、本来の学習が疎かにならないように取り組む必要がある。</li> <li>・ふるさと納税についての提案等を続けていただきたい。</li> </ul>

- 地域づくりに貢献してもらおう取組もあり、”こあがり”等で一緒に活動してもらえると嬉しい。学校でしっかりと学んで地域に住み続けてもらいたいと思っている。
- 自分たちの地域を知ること、地域外に出ても戻ってきたくなるような活動をお願いしたい。
- 地歌舞伎の世界でも、後継者がおらず、人材不足である。地元の良いところを見ながら、出演してもらえると嬉しい。
- 倉敷の視察報告のなかに学生がホームページや商品開発に取り組んでいる。新しいモノを生み出すには大変な苦労がある。同じ発想を持っていては、モノ作りはできない。学生と企業間での交流があるとよい。
- 今年度は、深く太く地域との関わりができています。
- 中津川にある伝統や文化を小中高と勉強することは大事なことでと感じる。外に出たときに中津川市の宣伝ができるようにさせたい。
- ふるさと納税の返礼品として申請する場合に、コンピュータに疎い人もおり、その部分でタイアップできれば、もっと裾野が広がるのではないかと感じる。
- 中学校の教員も若返りが激しく、この地域の出身でない人もおり、出前授業等で地元の高校の特色を理解できることはありがたい。保護者からは「中学校では平和というグローバルな視点で学ぶのに、高校では地域の学習なのか？」という質問などもあり、地域との連携に関する取組の魅力をどう伝えるかがとても大切になってくるだろう。
- 中津商業高校は部活をするところだと思う中学生が多かった。このような取組を通して、高校に入学してからのミスマッチを解消できるとよい。